会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回白岡市環境審議会		
開催日	令和7年3月17日(月)		
開催時間	午後2時開会 ・ 午後3時23分閉会		
開催場所	白岡市役所4階 特別会議室1・2		
会長の氏名	弓木 裕一		
出席者の氏名・出席者数	白岡市環境審議会委員 仁木 俊夫、福田 慎太郎、久保木 孝夫、伊藤 昌美、 弓木 裕一、天野 晋明、鈴木 純二、片山 俊樹 8人		
欠席者の氏名・欠席者数	浅野 悦子、稲橋 雅則 2人		
説明員氏名	(1) 第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果について：今泉主査 (2) 白岡市路上喫煙の防止に関する条例について：新井主幹		
事務局職員の職・氏名	生活経済部	部長	神田 正
	環境課	課長	伊藤 真州
	環境課	主幹	吉田 宏
	環境課	主査	伊藤 研人
	環境課	主査	今泉 和也
	環境課	主任	折原 浩幸
	環境課	主任	松原 直美
	健康増進課	課長	大瀧 明志
	健康増進課	主幹	新井 仁
	健康増進課	主査	中山 玲子
	10人		
その他会議出席者の職・氏名	(傍聴人) 1人		

<p>会 議 次 第</p>	<p>1 開 会 2 あいさつ 3 議 事 (1) 第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果について (2) 白岡市路上喫煙の防止に関する条例について 4 そ の 他 5 閉 会</p>
<p>配 布 資 料</p>	<p>○会議次第 ○第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果報告書 ○資料1 白岡市路上喫煙の防止に関する条例 ○資料2—1 白岡駅周辺路上喫煙禁止区域 ○資料2—2 新白岡駅周辺路上喫煙禁止区域 ○資料3 路上喫煙に関するアンケート集計結果</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
吉田主幹	1 開 会 会議を開会
神田部長	2 あいさつ 神田生活経済部長からあいさつ
弓木会長	弓木会長からあいさつ
吉田主幹	3 議 事 議事進行については白岡市環境基本条例第31条第1項に基づき、会長に依頼する。
弓木会長	これより議長の職を務める。 1名の傍聴の許可をしたことを報告する。
今泉主査	議題(1)第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果について、事務局から説明を求める。 第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果報告書に基づき説明
弓木会長	事務局の説明が終了した。 説明に対して質問等はあるか。
A委員	このアンケート結果は市民に公表されるのか。
今泉主査	会議終了後に会議録とともに資料としてホームページで公表する予定である。
B委員	資料を見ると数字的なものは細かく出ているが、数字ではなく、具体的にこういう声が多かったとか、代表的な例を出せなかったか。
今泉主査	報告書の116ページからになるが、市民の方からの自由記述に書かれている意見を自然環境や生活環境といった項目ごとに載せている。

C 委員	このアンケートの目的は、第2次白岡市環境基本計画の改訂に当たって市民の声を聴くことだと思うが、こういった声に対して、5年の間にずいぶん変わってきたので見直す必要があるとかの分析はしているのか。
今泉主査	具体的な検討については今後となる。令和7年度に、計画策定の受託業者とも協議しながら、現状と5年前に策定した計画との変化を踏まえて改訂していきたいと考えている。
C 委員	印象というレベルで構わないのだが、この5年間でこういった声が出てきたというのはあるか。
今泉主査	一概には申し上げられないが、環境というのは分野が広いところもあり、自由記述では様々な意見が出ている。特に地球温暖化対策に関することについては、興味関心が高まっていると感じている。
C 委員	埼玉県内を見ても外国人の占める割合が増えており、新たな環境問題が発生しているところもある。日本人と外国人がうまく共生していけるような視点も入れながら、こういった計画を作っていくことも必要と感じる。
D 委員	白岡独特の意見や環境問題が反映されているものがあるか。
今泉主査	白岡独特という判断はし難いところもあるが、田園地域もあれば街中もあるというところでの意見はそれぞれある。すべての意見を計画に反映するのは難しいが、今後策定するに当たって、役立てていきたい。
D 委員	環境対策では近隣の市町村と足並みをそろえることも必要と感じる。
今泉主査	地球温暖化対策の実行計画の区域施策編については、近隣もそうであるが、市内の工業団地などでは二

<p>A 委員</p>	<p>酸化炭素の排出量も多くなっている。令和 5 年度にポテンシャル調査というのも実施しており、その結果を反映させていくことはできると思っている。</p> <p>地域別にクロス集計で分かりやすくなっている。自分が A 地域に住んでいるので、気になって見たのだが、今住んでいる所の環境が良いか悪いかの設問で A 地域は評価が低かった。あんな環境の良い所はないと私は思うが、回答の意図として、交通の便が悪いから住みにくそうだとか違う方向性で環境が良くないと答えている人が多そうな気がするが、その辺りは判断材料としてどう踏まえていくのか。</p>
<p>今泉主査</p>	<p>生活環境の中でも街づくりという部分なのかと思う。都市計画マスタープランや総合振興計画などのそれぞれの計画に当てはめた部分で必要な情報を整理しながら取捨選択して反映させていただければと思う。</p>
<p>C 委員</p>	<p>自分は環境というと自然環境を発想するが、報告書を見ると市民の方の一般的な感覚からすると暮らしやすさとかの生活環境のウエイトが大きいという印象を受ける。環境は幅広いが、そこを混在せずに区分して議論し、計画していった方が良くと思う。</p>
<p>弓木会長</p>	<p>ほかに意見はあるか。</p>
<p>C 委員</p>	<p>問 20 に関連することだが、行政の施策として補助金というのはよくあることで、それを否定するものではない。一般企業の感覚として物事の循環を良い方向に回すためのきっかけづくりとしてお金をかける、投資することがある。市の財源に限りがあり、早い者勝ちで結果的に不公平になることも懸念されるが、補助金も好循環を作るためのきっかけづくりとなるよう検討してもらいたい。</p>
<p>今泉主査</p>	<p>環境課が行っている補助金は、太陽光、蓄電池、電気</p>

C 委員	<p>自動車などを対象としており、少しずつではあるが二酸化炭素の削減につながっていると考える。</p> <p>また、補助金の予算残額については、ホームページで月 1 回程度公表している。</p> <p>E V について言えば、市民が E V を購入するために補助したほうが良いのか、それとも E V を買えない理由として充電設備が少ないなら、充電設備を整備するためにお金を使ったほうが良いのかを考えて好循環となるのが良いという意味合いで意見を述べさせていただいた。</p>
A 委員	<p>33 ページに SDGs の認知度が取り上げられていて、前回半分以下だったのが、今回は 90% 以上になっており、SDGs という言葉が広まったのが分かる。あとは知ったは良いが、何をすることが市民一人ひとりの意識として大事である。環境省の補助金でも啓発はいいから社会実装を進めろということで、どれだけ結果が出たかが求められている状況にあるので、それをしっかり計測できるようにしなければならない。</p> <p>そこで「あなたは何をしていますか。」という設問が 70 ページにあるが、エコバッグの持参が国の施策もあり一気に広がった。次に多いのがエコドライブであるが、環境省がエコドライブのアンケートを実施していて、CO₂削減効果は何%か分かるアンケートとなっており、エコドライブの実施率 66% と公表されている。私が企業での研修の際に実際の運転を計測器で測った後に環境省と同じアンケートを実施したところ、相関係数 0.13 という結果で、まったく関係がなかった。アンケートでエコドライブを実施していると回答している人の点数が悪かったり、あまりやっていないと答えた人の点数が高かったりしていた。アンケー</p>

B 委員	<p>トだけでは真実を捉えていない部分もあるかもしれない。</p> <p>SDGs の認知度で言葉も内容も意味も知っていると回答した人が 65.2%ということだが、実際には SDGs が何かと聞かれたときにすぐには答えられないのではないか。</p>
C 委員	<p>アンケートの回収率が 32%しかないので、環境問題に関心の高い層が回答していることが影響しているのではないか。</p>
今泉主査	<p>今回は改訂ということもあり、前回のアンケートとの比較をする上からも質問項目は地球温暖化に関することを加えた以外はあまり変えていない。第 3 次の計画を策定する際には、質問項目を変えていくことも必要と考える。</p>
E 委員	<p>本日の二つ目の議題である路上喫煙の防止は、SDGs の 17 の目標の 12 番目の「つかう責任」に該当する。吸う人だけでなく、吸わない人も落ちている吸殻を拾うなど、全員が参加して SDGs に関する行動をとる旗振りのテーマとしてはとっつきやすいのではないか。</p>
F 委員	<p>SDGs については、学校教育の中で取り上げられているようなので、データを見ると、小中学生には行き渡っているのかと思うが、なかなか一言で説明できる人は少ないと思う。SDGs の本来の必要性を皆さんに考えていただくことも必要と感じた。</p> <p>91 ページの間 18 のエネファームとエコジョーズは市民が理解しにくいのではないかと思う。エコキュートは使っている方が多いと思うが。エネファームはガスを使って電気とお湯を作るもので、家庭用燃料電池といわれ、まだ普及されていない。理解をしていないまま回答しているのではないかと思う。</p>

弓木会長	ほかに意見はあるか。
委員一同	なし
弓木会長	意見もないようなので、議題(1)第2次白岡市環境基本計画改訂等に係るアンケート調査結果については終了とする。
弓木会長	続いて、議題(2)白岡市路上喫煙の防止に関する条例について事務局から説明を求める。
新井主幹	資料1から3までに基づき説明を行う。
弓木会長	事務局の説明が終了した。 説明に対して質問等はあるか。
A委員	アンケート360件の配布先はどこか。
新井主幹	白岡駅と新白岡駅のロータリーに面している住民及び事業者である。
A委員	それ以外の地域の方は、インターネットで回答することができたということか。
新井主幹	そうではなく、両駅のロータリーに面したところ限定である。
C委員	条例は比較的緩い規定でマナーアップという趣旨で作られていると感じた。この条例を受けて具体的な禁止区域をどう指定するかということで、最小限にするか、条例が緩いので広範囲にかけるという考え方もあると思う。例えば市街化区域全域を禁止区域にするとか。4月1日スタートなので変えることは現実的には難しいと思うが。案の禁止区域を市民に周知させるのは難しいと思うので、ほかの区分があれば〇〇区域は禁止区域とする方が分かりやすいと感じた。
B委員	資料3の3ページのQ8に「路上喫煙者をあまり見かけた事がない。」とあるが、私も見たことがない。条例を作るまでもなく、間もなく自然になくなっていくのではないか。

E 委員	<p>たばこのポイ捨てと臭いがくさいという意見が出ており、たばこに対する嫌悪感を抱いているひとは多いのではないか。駅前のロータリーに限った緩い禁止区域で罰則もないが、市が対策をとるとするのは有り難いと思う。現在、駅を利用していないので、駅の周りにどれくらいたばこが捨てられているか分からない。</p> <p>私の自宅は元荒川の桜並木沿いに面しているが、散歩している人がけっこう捨てている。Q6の困ったことがある中で一番多い、たばこのポイ捨てが駅周辺では見かけなくても散歩コースであるというのは私も同意見である。条例で路上喫煙の防止を規定していれば定期的にごみ拾いもしましようという動きになると思う。</p>
C 委員	<p>私も路上喫煙を見かけることはほとんどないが、地元の自治会の役員を務めていてその中で路上喫煙の話も出る。一定の割合で路上喫煙をする人はいるが、ペットのマナーの悪さの方が多いと感じる。</p> <p>新白岡駅の外国人のたばこの問題については、バスで送迎している企業に社員教育の徹底を働きかけてもよいのではないか。</p>
新井主幹	<p>喫煙率の低下に伴い、路上喫煙も減っているかもしれないが、年に数件、市長への手紙等で路上喫煙について、苦情や御意見をいただいている。条例を設けることによって、市民の方の協力をいただけるものと考えている。新白岡駅の件については禁止区域を指定した後、チラシを作成するなどし、企業を通じて従業員への周知をお願いしていきたい。</p>
A 委員	<p>新白岡駅を使っているが、トイレの横でたばこを吸っている姿を見かける。また、プロギングというごみを拾いながらジョギングをする活動を行っているが、</p>

	<p>吸殻はよく捨てられている。</p> <p>大宮駅で乗り換えるときに4番線ホームを歩いていて、1番線の外にある喫煙所の臭いがする。喫煙所を作るかどうかということについては、いろいろな意見があるが、留意する必要があると思う。</p>
B 委員	<p>総合運動公園では以前に「喫煙は管理棟の中へ」という張り紙があった。逆に喫煙は屋外だと思う。喫煙に対する根本的な考えが一人ひとり違うのではないかと思う。</p>
F 委員	<p>白岡駅の西口の交番の裏にあった喫煙所がなくなり、シラオカフェの一角が喫煙所になっている。室内で吸ってくださいということになっているが、換気扇が付いており、ホームの方に少し臭いが出るのではないかという感じがする。</p>
G 委員	<p>私は十数年前にたばこを吸うのを止めているが、吸っていたときのことを考えると、喫煙できる場所は100パーセント作ってほしいと思ってしまう。喫煙できる場所で吸っても、吸殻を捨てればそれを片付ける人がいるので、今となっては申し訳なかったと思う。吸っているときは高額納税していたので、それくらいよいのではないかと思っていたので、結局、吸っている人と吸っていない人に同じ質問をしてもどっちが良いということは決められないと感じた。</p>
弓木会長 委員一同 弓木会長	<p>ほかに質問はあるか。</p> <p>なし</p> <p>質問がないようなので終了とする。</p>
吉田主幹	<p>本日委員の皆様から出た意見等については、事務局で整理し、対応をお願いしたい。</p> <p>議事が全て終了したため、議長の職を降りる。</p> <p>4 その他</p>

<p>今泉主査</p>	<p>その他に関して、事務局から説明がある。</p> <p>委員の任期が7月2日までとなっている。年度が明けたら公募委員の募集、各団体への推薦依頼を行うので、よろしく願います。</p>
<p>伊藤主査</p>	<p>4月1日以降に購入したものを対象に省エネ家電買換えの補助金を交付する予定であるので報告させていただく。</p>
<p>吉田主幹 B委員</p>	<p>そのほか、各委員から何かあるか。</p> <p>提案なのだが、大きな概念で環境を話し合える機会を設けられたらと思う。地球全体のことを勉強する機会を市として設けられないか。また、この会議に小中学生や高校生を含めるべきではないかと思う。これからの環境を守るのは子どもたちである。</p>
<p>伊藤課長</p>	<p>大きな環境問題を考える機会を設けるということについては、毎年、夏休みを利用して環境学習会を実施している。今年度は筑波の方で宇宙のことを勉強した。冬季には座学であるが、ソーラーランタンの作製を行った。今後も工夫をして、よりたくさん子どもたちに環境問題を身近に取り組んでもらう機会を考えていきたい。</p> <p>審議会に若い人たちを入れることを検討してはということであるが、多種多様な意見が必要である一方、どうしても平日開催であるので、働いている方や子どもたちが参加しにくい状況にある。どういった工夫ができるか検討していきたい。</p>
<p>A委員 伊藤課長</p>	<p>脱炭素協議会に私も構成員として参加しているが、この環境審議会では触れないものとなっているのか。</p> <p>脱炭素協議会では、市のカーボンニュートラルに向けての取組を昨年から今年にかけて、4回ほど検討してきた。令和7年度には環境基本計画の改訂に併せて、</p>

<p>吉田主幹 委員一同</p>	<p>地球温暖化対策実行計画の区域施策編を策定する予定であり、環境審議会の意見をいただきたいと思っている。脱炭素協議会とは別になるが、もう少し大きな視点で市としてどのような取組ができるかということについて、審議いただきたい。</p> <p>そのほか、各委員から何かあるか。</p> <p>なし</p>
<p>吉田主幹</p>	<p>5 閉 会</p> <p>会議を閉じる。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>